

祝 東海南中学校 男子弓道部 全国制覇！

「第16回 全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会」で優勝しました！



8月17日・18日に行われた「第16回 全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会(団体競技・男子の部)」で、優勝に輝いた東海南中学校弓道部の団体メンバーが、村長へ報告に訪れました。

大会に向け放課後の練習に加え、休日の練習では40射を打ち込んできました。同月8日に行われた関東大会では3位に終わり、うれしさの中に悔しさも残り、全国大会へ向けさらに練習に励んだ4人。

全国大会では、たくさんの観客が見守る中、24射13中(3人による4射×2回)で予選を突破し、決勝トーナメントへ駒を進めました。「負けたら終わりという中で、これまでになく緊張しましたが、練習と同じように心を落ち着かせて弓を引くことができ、それが優勝へつながったと思う」と当時を振り返る4人の顔つきから、全国一位という誇りがうかがえました。

今大会で見事、全国優勝を果たした4人は、高校へ進学しても弓道を続けていくとのこと。今後の活躍にも注目していきましょう。改めて、おめでとうございます！



【写真左から】萩谷東海南中学校校長、川野健さん(東海南中弓道部顧問)、佐藤碧葉さん、青柳匠海さん、原優太朗さん、河野峻介さん、山田村長、庄司教育部長

いつまでも、生き生きとお元気で！

山田村長が100歳到達者と村内最高齢者を訪問しました



9月13日に、本年度100歳を迎える方への敬老のお祝いに、山田村長が自宅や施設を訪問しました。

村内で本年度100歳を迎える高齢者は7人(9月16日時点)。内閣総理大臣からの祝い状や記念品、県知事からの祝い状を村長が代わって贈呈しました。

贈呈後は村長と和やかに歓談。村長からの「何が一番好きですか」との質問に、「カラオケで歌う氷川きよし」「自分の歯でしっかりかんで食べる固い煎餅」といった答えが返ってきました。



穏やかな笑顔で村長と話をする吉池ときさん(舟石川駅東)



祝い状を受け取る澤井千年さん(舟石川駅西)



照れながらも笑顔いっぱい樓門ハツメさん(村松)

また、村内最高齢者の吉池ときさん(105歳)が入所する施設を訪問し、多くの仲間から祝福される中でお話を伺いました。百人一首や歴史の暗記はお手のものという、ときさん。「村で最初にパーマをかけたのは、お母さんかも」との家族の言葉に、ときさんと村長の笑いも一段と高まりました。



訪問を終えて

訪問時に同席した家族からは、「100歳まで長生きしてくれて私たちの目標にもなる」といった声が聞かれました。改めて100歳到達者と村内最高齢者の吉池さん、そのご家族の皆さん、おめでとうございます。